

光 ひかり

光には、どんな役割があるか、かんが考えたことをつぎの空白くわいはくに書いて下さい。

光ひかりには、何か希望きぼうが感じかんられます。どんな人ひとにもわけへだてなく、光ひかりは注そそがれます。

洗礼者ヨハネの誕生 せんれいしや たんじよう

ルカによる福音書ふくいんしよでは、イエスさまの誕生たんじようについて書かくまえに、洗礼者ヨハネせんれいしやの誕生たんじようの物語ものがたりが書かかれています。ザカリアはユダヤの祭司さいしでした。その妻つまのエリザベトは年としをとっていました。子どもができませんで苦しんでいました。でも、子供こどもができないということことでけいべつされていたエリザベトに、神かみの使つかいによりなぐさめのことばが告つげられます。

洗礼者ヨハネせんれいしやの誕生たんじようは、夜よるがすぎて夜明けよあけが来るように、くらやみの中なかに住すんでいる人々ひとびとに光ひかりをもたらしました。

ユダヤの社会では、子どもがたくさん産まれることは、神の祝福のしるしとされてきました。だから、子どもを産むことのでない人は、のろわれた人とみなされてきました。

年をとったザカリアにしても、エリザベトの苦しみをやわらげることはできなかったのです。

力のない人や、圧迫されている人にとって、神さまが救いの光であることをこの物語は強く訴えています。「光」は、救いについて考える時、一番わかりやすいしるしです。一日中いつも光に照らされているわけではなく、光のない夜もあります。しか

し、時間がたてば、必ず夜が明けることを私たちは信じています。

